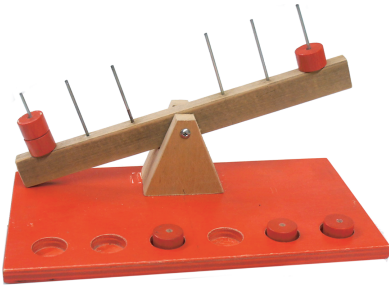


1) まず、自由に遊ばせる。0
2) 図1～5のように玉をさしてどっちがさがるか当てこし、
実験で確かめる。
2) どちらが勝つかのようなゲーム感覚でやると喜ぶ。
3) 釣り合状態は美体験の実施が難しい。

a) 天秤はかりの釣り合いで、どちらが下がるかの実験。
b) 玉の量の要素と位置(てこの要素)が、チルト(検査)ではないので
元を異にし難度も高いが、チルト(検査)ではないので
試行範囲に制限は要らない。
c) 感覚的な美体験の範囲でよい。

評
Date /
Note



a. はかりの ぼうに
たまを さして
どっちが さがるか
いろいろ じっけんしよう。

b. 1～5の ずのように
たまをさして
どっちが さがるか
あてっこしよう。

